

1. 職名・氏名 特任教授 東 洋一2. 学位 学位 博士、専門分野 (理学)、授与機関 東京大学、授与年月 平成5年

## 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 2014, 2016, 2017, 2018 年度 恐竜学(2単位;分担); 地球生命史学(2単位;分担); 実践恐竜学(2単位;分担); 福井を学ぶ(2単位;分担); 古生物学専攻演習 I(1単位;分担)
② 内容・ねらい(自由記述) 恐竜を中心とした脊椎動物を中心題材に据え、様々な地学的題材を取り上げる。また、大陸移動などの固体地球の基礎知識や絶滅事変は、脊椎動物を取り巻く地球環境史を理解するうえで不可欠なことから、大きな柱として取り上げる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫(自由記述) 過去から現在までの地球環境を概観し、その変遷と生物の進化との関連について恐竜に関連することがらを中心に理解を深める。
(2)非常勤講師担当科目
① 担当科目名(単位数) 開講学校名 <b>恐竜を学ぶ</b> (2単位;分担) 放送大学
② 内容・ねらい(自由記述) 恐竜は約1億6千万年間も繁栄した。その多様な形態や生態は、現生動物では見られない興味深いものも多く、注目されている。恐竜はなぜそれほど長いあいだ繁栄し、多様化できたのか。恐竜の生態学的な側面を学び、繁栄・多様化を議論する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫(自由記述) 地球と恐竜がいかに共に自然環境を通して相互に影響を与えてきたかということを理解し、地球環境の未来を考える。
④ 本学における業務との関連性(自由記述) 本学、恐竜学、実践恐竜学と関連し、広く恐竜学を普及する。
(3)その他の教育活動
福井県立恐竜博物館特別館長(2010～)、放送大学客員教授(2016～)、放送大学公開講演会(2019)、福井県立大学古生物学関連有識者会議委員(2018・2019)、など

#### 4. 研究業績

##### (1)研究業績の公表

###### ① 論文

(タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日)

- 1) T. Imai, Y. Azuma, S. Kawabe, M. Shibata, K. Miyata, M. Wang and Z. Zhou 2019. An unusual bird (Theropoda, Avialae) from the Early Cretaceous of Japan suggests complex evolutionary history of basal birds. *Communications Biology* 2, 399  
<https://doi.org/10.1038/s42003-019-0639-4>
- 2) Chokchaloemwong, D., S. Hattori, E. Cuesta, M. Shibata, Y. Azuma and P. Jintasakul. 2019. A new carcharodontosaurian theropod (Dinosauria: Saurischia) from the Lower Cretaceous of Thailand. *PLOS ONE* 14(10):e0222489.
- 3) 鈴木茂之・東 洋一・出山康代・湯川弘一・臼井まゆみ. 2019. 福井県おおい町赤礁崎で見出された非石灰質ビーチロック. *岡山大学紀要*, 25 (1): 1-15.
- 4) Tsukiji, Y., Y. Sakai and Y. Azuma, 2019. Ichnotaxonomic revision of dinosaur tracks from the Lower Cretaceous Tetori Group, Japan. *Memoir of the Fukui Prefectural Dinosaur Museum*. 18:1-20.
- 4) Tsukiji, Y., Y. Azuma, F. Shiraishi and M. Shibata, 2019. A diverse theropod footprint assemblage from the Lower Cretaceous Kitadani Formation, Tetori Group, central Japan. *Cretaceous Research* 97, 16-33.
- 5) Tsukiji, Y., S. Kawabe and Y. Azuma, 2019. A re-examination of dinosaur trackmakers based on three dimensional quantitative data from the Lower Cretaceous Tetori Group of the Oshirakawa Area, Gifu Prefecture. *Paleontological Research*.
- 3) Tsukiji, Y., Y. Azuma, F. Shiraishi, M. Shibata and Y. Noda. 2018. New ornithopod footprints from the Lower Cretaceous Kitadani Formation, Fukui, Japan: Ichnotaxonomical implications. *Cretaceous Research* 84:501-514.
- 4) Kubo, T., M. Shibata, W. Naksri, P. Jintasakul and Y. Azuma. 2018. The earliest record of Asian Eusuchia from the Lower Cretaceous Khok Kruat Formation of northeastern Thailand. *Cretaceous Research* 82: 21-28.
- 5) 柴田正輝・尤 海魯・東 洋一. 2017. 日本の恐竜研究はどこまできたのか? : 東・東南アジアの前期白亜紀恐竜フォーナの比較. *化石* 100号 (in press)
- 6) Imai, T., P. Jintasakul, Y. Azuma, Y. Noda and D. Chokchaloemwong. 2016. First fossil turtle eggshells (oogenus Testudoolithus) from the Lower Cretaceous of Thailand. *Memoir of the Fukui Prefectural Dinosaur Museum*, 15: 1-6.
- 7) Azuma, Yoichi, Xing Xu, Masateru Shibata, Soichiro Kawabe, Kazunori Miyata, Takuya Imai, 2016. A bizarre theropod from the Early Cretaceous of Japan highlighting mosaic evolution among coelurosaurians. *Sci. Rep.* 6, 20478; doi: 10.1038/srep20478 .
- 8) Miyata, K., Y. Azuma and M. Shibata. 2016. New mammalian specimens from the Lower Cretaceous Kitadani Formation, Tetori Group, Fukui, Japan. *Historical Biology*, 28(1- 2): 138- 150.

## ②著書

(タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)

東 洋一他監修 2018 スーパービジュアル再現 羽毛恐竜と巨大昆虫 7つの謎で解き明かす太古の世界. ナショナルジオグラフィック社. 221p.

## ③学会報告等

(タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所))

Tsukiji, Y. and Y. Azuma, 2019. Dinosaur ichnofauna from the Kitadani Formation (Aptian): Comparisons of dinosaur ichnofaunas in East and Southeast Asia. The 4th International Symposium on Asian Dinosaurs in Mongolia 2019, Program and Abstracts: 147-149.

Chokchaloemwong, D., S. Hattori, E. Cuesta, M. Shibata, Y. Azuma and P. Jintasakul. 2019. A new carcharodontosaurian theropod (Dinosauria: Saurischia) from the Lower Cretaceous Khok Kruat Formation of Nakhon Ratchasima, Thailand. The 4th International Symposium on Asian Dinosaurs, Program and Abstracts: 46.

Tsukiji, Y., Y. Azuma and F. Shiraishi, 2019. New ornithopod footprints from the Lower Cretaceous Kitadani Formation, Fukui, Japan: Ichnotaxonomical implications. 日本地質学会西日本支部 平成29年度総会・第169回例会, P-21.

Imai, T., Azuma, Y., & Yukawa, H. 2019. Description of Dongyangoolithid Eggshell from the Lower Cretaceous of Shimonoseki, Yamaguchi, Southwestern Japan: with remarks on Paleobiogeographic Distribution of Dongyangoolithid-type Eggs in East Asia. The 4th International Symposium on Asian Dinosaurs in Mongolia 2019, Program and Abstracts: 124-125.

Hattori, S., Y. Azuma & S. Kawabe. 2018. Preliminary study on the growth of Fukuiraptor kitadaniensis (Dinosauria: Theropoda). The Proceedings of the 6th International Symposium of International Geoscience Programme IGCP Project 608 "Cretaceous Ecosystems and Their Response to Paleoenvironmental Changes in Asia and the Western Pacific": 56.

今井拓哉・東洋一・湯川弘一・高橋文雄・山根謙二・篠田健二・清水好晴, 2018. 山口県下関市の関門層群下関亜層群(前期白亜紀後期)から産出した国内初のデンドロウーリトウス卵科の卵殻化石. 日本古生物学会2018年年会講演予稿集: 51.

Masateru Shibata, Pratueng Jintasakul Yoichi Azuma, Duangsuda Chokchaloemwong and Soichiro Kawabe. 2018. All about Sirindhorna khoratensis (Ornithopoda; Hadrosauroidea). Proceeding of the 6th International Symposium of International Geoscience Programme IGCP Project 608. P. 4-5.

Teppey Sonoda, Wilailuck Naksri, Masateru Shibata and Yoichi Azuma. 2018. Carettochelyid turtle from the Lower Cretaceous of Japan and the diversification of the pan-trionychian turtles. Proceeding of the 6th International Symposium of International Geoscience Programme IGCP Project 608. P. 10-11.

Soki Hattori, Yoichi Azuma, Soichiro Kawabe. 2018. Preliminary study on the growth of Fukuiraptor kitadaniensis (Dinosauria: Theropoda). Proceeding of the 6th International Symposium of International Geoscience Programme IGCP Project 608. P.56.

## ④その他の公表実績

(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動（担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日)）
学会での役職など（学会名） アジア恐竜協会副理事長
学会・分科会の開催運営（担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所） 2019年アジア恐竜協会シンポジウム 2019年7月23日～27日、ウランバートル大学
(3)研究会活動等
② その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名(期間)）
② その活動による成果 第十五回福井県科学学術大賞受賞(他3名と共同受賞)令和2年2月7日
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
2017～ ゴビ砂漠恐竜共同発掘調査 読売新聞社など
(5)特許出願

## 5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） 福井県立恐竜博物館特別館長(2014 年度～2020 年度) 放送大学客員教授（2016 年度～2020 年度） 勝山恐竜化石群および産地保存活用計画策定委員会委員(2018 年度～)
② 国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間） 徳島県勝浦町恐竜化石活性化協議会アドバイザー
③(公益性の強い)NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
④(兼業規程で業務と見なされる範囲内での)企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間） 中国浙江自然博物館客員研究員（2014 年度～2019 年度） 中国自貢恐竜博物館客員研究員（2014 年度～2016 年度） 中国地質科学院地質研究所客員研究員（2014 年度～2016 年度） 中国河南省地質博物館客員研究員（2014 年度～2016 年度） 中国浙江自然博物館専門顧問（2014 年度～2016 年度） 中国浙江自然博物院客員研究員（2019 年度～）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時） 「福井とアジアの恐竜」第 53 回 IBM ユーザー・シンポ ANA クラウンプラザ 2015, 5, 14 「福井県の恐竜時代」ロータリークラブ ホテルフジタ 2015, 5, 20 「発掘調査から見てきた福井の恐竜時代」日本集中治療医学会東海・北陸地方会 福井フジタ 「福井県の恐竜時代」京急百貨店 2015, 7, 18 「発掘で見てきた福井の恐竜」日本鉄道車両機械技術協会 金沢都ホテル 2015, 8, 27 「福井の恐竜時代」北信越高校校長会 ホテルフジタ福井 2015, 9, 11 「福井県の恐竜」テクノポート福井トップ会 三国観光ホテル 2015, 10, 22 「発掘で見てきた日本の恐竜」御船町恐竜博物館 2015, 10, 25 「福井の恐竜時代」ロータリークラブ ホテルユアーズ 2015, 12, 24 「恐竜から鳥へ」中日文化センター 中日ホール 2016, 3, 12 「手取層群の恐竜たち」岐阜県博物館 手取層群の恐竜たち 2016, 7, 16 「福井の恐竜時代—今日になるまで」メダカクラブ 鯖江ホテル 2016, 9, 28

<p>「福井県の恐竜時代」中部私学教育研修会 福井工業大学金井講堂 2016, 9, 29</p> <p>「福井県の恐竜時代」44 回全国理数科教育研究大会 ホテル藤田 2016, 10, 6</p> <p>「北陸の恐竜時代」高峰譲吉博士記念会 金沢市文化ホール 2016, 11, 26</p> <p>「越前の恐竜時代」丸岡図書館講演 高棕コミュニティセンター 2017, 2, 4</p> <p>「アジアの恐竜時代—進化と移動」放送大学福井学習センター 2017,3,11</p> <p>「福井県の恐竜時代」国際ロータリー2650 地区大会 2017,4,9</p> <p>「福井県の恐竜時代」 田んぼアート記念講演 2017,7,6</p> <p>「県立大学と恐竜博物館」 きらり会 2017,10,11</p> <p>「恐竜発掘の成果から見えてきたこと」 日本塑性加工学会第68回連合大会 2017,11,10</p> <p>「福井の恐竜化石発掘史」 放送大学福井学習センター記念シンポジウム2018,3,10</p> <p>「アジアの恐竜時代」 放送大学福井学習センター講演会 2019,4,27</p> <p>放送大学福井学習センター</p>
<p>③ その他（名称、活動場所、活動期間）</p> <p>徳島の恐竜化石シンポジウム—恐竜化石最前線—基調講演(2020.3.29)</p>
<p>(3)その他(個人の資格で参加している社会活動等)</p> <p>(活動内容、主たる活動場所、活動期間)</p>

## 6. 大学の管理・運営

<p>(1)役職(副学長、部局長、学科長)</p> <p>(職名、期間)</p> <p>恐竜研究所長(2016 年度～2019 年度)</p>
<p>(2)委員会・チーム活動</p> <p>(名称、期間)</p> <p>教育研究審議会(2016 年度～2019 年度)</p>
<p>(3)学内行事への参加</p> <p>(行事名、参加日時)</p>
<p>(4)その他、自発的活動など</p> <p>(活動名、活動内容、活動期間)</p>